

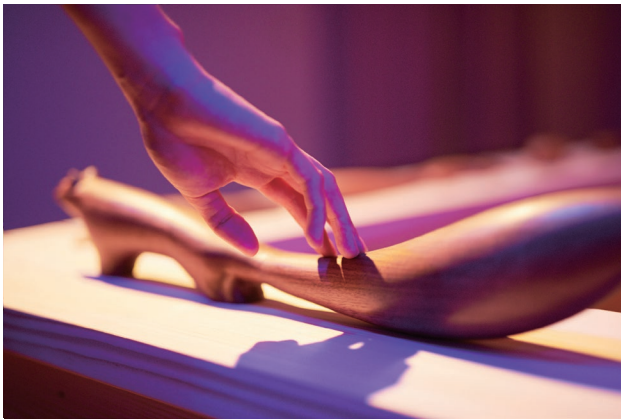
とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画
展覧会「光さす間に」

2022年9月24（土）～10月16日（日）
豊中市立文化芸術センター

新作も初公開。建物全体を使って MATHRAX の世界を体験する
展覧会「光さす間に」開催

豊中市立文化芸術センターが企画する「とよなかアーツプロジェクト」、2022年のメディアアート企画は、電気、光、音、香り、また、木や石などの自然物を用いたオブジェやインスタレーションの制作を行う、久世祥三と坂本茉莉子によるアートユニット・MATHRAX の展覧会を開催します。

今シーズンのプロジェクトテーマは、〈わたしのうたをうたおう〉です。〈わたしのうた〉は、詩で書いても、音楽で奏でてもいい。一人ひとりが、その人らしい感性に気づき、自分の表現を見つけていく出来事をつくりたいと考えています。



1. MATHRAX 《うつしおみ》2019年 photo: kenji kagawa

〈感性〉を辞書で引くと「外界からの刺激を受け止める感覚的能力」と書かれていますが、外から触発されるものをどのように受け止め、束ね、認識に繋げるか、そこにその人らしさが現れると思います。

MATHRAX の作品は、光・音・香り、そしてその空間に現れるあらゆるものを介在して、それぞれに感受し知覚する、そのプロセスに深く浸れるよう構成されています。それは新たな世界を想起させ、作家は「誰もが今その瞬間を生きている時間においては、自由と創造性に祝福されている」と伝えてくれます。

昨今、その人がその人らしくあることが難しく、不利に感じられる場面に出会います。けれど一人ひとりが、その人らしい感性に気づき、表現をすることから出発できれば、わたしたちは隣の人と共に生きていく方法を見つけていけると考えます。

本展では、当館の展示室、和室、大ホール、屋上テラスなど様々な空間で、複数点のインスタレーションをご紹介しますとともに、豊中で初公開となる新作も予定しています。MATHRAX の作品を通じて、光・音・香り、空間や時間とのあそびをお楽しみ頂けたら幸いです。

とよなか
アーツプロジェクト

2021年より始動した現代アート事業。豊中市立文化芸術センターを拠点に音楽、美術、演劇などのジャンルを横断したクリエイションにより、沢山の人が集まる開かれたアートセンターに拡張すること、そして新しい創造の波をおこしていくことを期待し、地域とともに育てていく豊中市立文化芸術センターの中期プロジェクトです。

2022年度シーズンテーマ

〈わたしのうたをうたおう〉

（プログラムディレクター 山城大督）

（お問い合わせ） 豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール等指定管理者）

〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町3-7-2 TEL：06-6864-3901 FAX：06-6863-0191 Web：www.toyonaka-hall.jp

担当：小田（事業担当）oda@toyonaka-hall.jp | 竹本（広報担当）takemoto@toyonaka-hall.jp

とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画
展覧会「光さす間に」



2. MATHRAX 《うつしおみ》2019年 photo: kenji kagawa

アーティスト紹介

MATHRAX

〔久世祥三＋坂本茉莉子〕

電気、光、音、香り、石や木などの自然物を用いたオブジェやインスタレーションの制作を行う、久世祥三と坂本茉莉子によるアートユニット。かつて坂本がオーケストラで演奏していた経験から、人の意識の働きや他者との相互作用、構想力に興味を持ち、制作をはじめ。デジタルデータと人の知覚との間に生まれる現象に注目しながら、人が他者と新たなコミュニケーションを創り出すプロセスについて探求する作品を制作している。

<https://mathrax.com/>

アーティストメッセージ

昔、オーケストラで演奏していた頃、ふと気づけば、自分が楽譜や音楽の内容よりも、音によってその場にいる奏者や聴者が一体になる様子を意識していました。そして目には見えない、しかし確かにそこに形成されている“つながり”に興味を持ちました。それを生み出す、自己の意識の働きや他者との相互作用とは何なのか、そしてイメージを共有しながら紡いでいく力とは何なのか。その探求が、私たちの作品制作のテーマとなっています。

ここ3年間で世の中は大きな変化を強いられ、さらに世界情勢が身近な生活をも一変させています。そこにあふれる情報は真実とは限らず、まるで人の心の深い闇が形を変えたもののようにも感じられます。今回の展覧会では、闇も光も併せ持つ人の想像力に着目した、目や耳そして香りや触れる感覚で体験するインスタレーションを展開します。誰もが私の中のわたしと出会い、対話が生まれるような時間になればと願っています。

近年の主な展覧会

- 2021 東京 2020 NIPPON フェスティバル
「ONE -Our New Episode- Presented by Japan Airlines」
Our Glorious Future ~ KANAGAWA 2021 ~
カガヤク ミライ ガミエル カナガワ 2021
- 2020 「科学と芸術の丘 2020」(千葉県松戸市)
- 2020 「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2020」
- 2019 「ここから4 -障害・表現・共生を考える5日間」
国立新美術館
- 2019 「指先の中の音たち」アートギャラリーミヤウチ
- 2019 「美術館まで(から)つづく道」茅ヶ崎市美術館
- 2016 「じぶんのまわり -耳でながめて 目でかいで
鼻でふれて 手できいて- 展」茅ヶ崎市美術館

とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画
展覧会「光さす間に」

展覧会概要

名称： とよなかアーツプロジェクト 2022 メディアアート企画 「光さす間に」

会期： 2022年9月24日（土）～10月16日（日）〈20日間〉

※展示期間および開場時間は各会場により異なります。

会場： 豊中市立文化芸術センター（〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町 3-7-2）

展示室、屋上テラス、大ホール、和室

[展示室・1F] 9/24（土）～10/16（日）20日間 | 10:00～18:00（金曜・土曜は20:00まで開場、最終日は12:00に閉場）

[テラス・3F] 9/24（土）～10/16（日）20日間 | 10:00～18:00 [新作展示]

[和室・2F] 10/5（水）～10/15（土）10日間 | 10:00～18:00（金曜・土曜は20:00まで開場）

[大ホール] 10/8（土）～10/9（日）2日間 | 開場時間は決まり次第、WEBサイトに掲載します。[新作展示]

休館日：月曜休館（ただし、10/10〔祝・月〕は開館、翌10/11〔火〕は休館）

観覧料：

- ・一般 800円（展示室のみ入場の場合は一般 500円）
- ・高校生以下無料（学生証等の年齢のわかるものをご提示ください）。
- ・友の会（club CaT）会員無料（会員証をご提示ください）。
- ・障害のある方は一般料金の半額、その介助者1名は無料（障害者手帳をご提示ください）。
- ・20名以上の団体は一般料金より200円（展示室のみは100円）引き
※小学3年生以下のご入場の際は、保護者の同伴をお願いします。
※高校生以下の方、友の会員は、会期中に当館1階展示室内インフォメーションにて、引換チケットを受取ください。
- ・屋上テラスは出入自由（観覧券不要）です。

チケット取り扱い

豊中市立文化芸術センター1階 展覧会インフォメーション（展示室内）

販売・引換：9/24（土）～10/16（日）10:00～17:30（金曜・土曜は19:30まで、最終日は11:30まで）

主催：豊中市市民ホール等指定管理者、豊中市

後援：豊中市教育委員会

協力：茅ヶ崎市美術館、花王株式会社、美山工房

技術協力：川口真人（レイヨンヴェール）

宣伝美術：STUDIO PT.

プログラムディレクター：山城大督

企画担当：小田絵理子（豊中市立文化芸術センター事業課 | 豊中市市民ホール等指定管理者）

とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画
展覧会「光さす間に」

関連イベント

●調香体験「わたしの香りをつくろう」

日時：9月24日（土）13:00～、15:30～（各回約60分）

講師：花王株式会社 感覚科学研究所

会場：ミーティングルーム1

対象：小学生以上（小学生3年以下の方は保護者同伴）

料金：500円（大人の方は要観覧券）

定員：8名 × 2回（要事前申込・先着順）

●目の見えない人と見える人の鑑賞ワークショップ

「〈みる〉と〈さわる〉の間で」

見えない人と見える人が集まって、それぞれの〈みる〉と〈さわる〉の経験を共有しながら楽しむ鑑賞会

日時：10月1日（土）12:00～14:00

ファシリテーター：

「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」より

対象：障害の有無にかかわらず、どなたでも

（内容はおとな向け）

定員：8名（要事前申込・抽選）

料金：無料（要観覧券）

●電子工作ワークショップ

「キツネも歩けば光る・奏でる」



展示作品「うつしおみ」の中に登場するキツネをモチーフにした電子基板を組み立てます。キツネは揺れると尻ぼを光らせて音を奏でます。

日時：10月2日（日）10:00～、14:00～

（各回約2時間）

講師：MATHRAX〔久世祥三＋坂本茉里子〕

会場：ミーティングルーム1

対象：小学生以上（小学生以下の方は保護者同伴）

料金：2,000円

定員：7名 × 2回（要事前申込・先着順）

●感受性のワークショップ 赤ちゃんと大人編



プログラムディレクター・山城大督による「赤ちゃんと大人の感受性」を育むワークショップ

日時：10月9日（日）9:30～11:30

講師：山城大督（美術家、映像作家）

会場：大ホール 2F ホワイエ

対象：3歳以下の子どもと大人

料金：一組500円（大人の方は要観覧券）

定員：10組（要事前申込・先着順）

●アーティスト・トーク [オンライン]

展覧会と作品についてアーティスト本人がオンラインで語ります。

日時：10月1日（土）16:00～

料金：無料（要事前申込）

●本展企画担当者によるギャラリートーク

日時：9月27日（火）、10月15日（土） 各日 14:00～

料金：無料（要観覧券／要事前申込）

各イベントの申込は、9月3日（土）15:00から豊中市立文化芸術センターチケットオフィス電話（06-6864-5000）またはメールにて受付。メールの場合は、件名にご希望のイベント名、本文に①氏名（ふりがな）②年齢（子どものみ）③お電話番号をご記入のうえ、info-bungei@toyonaka-hall.jp までお送り下さい。

10月1日の鑑賞ワークショップの申込詳細はHP等でご案内します。

<http://www.toyonaka-hall.jp/>

とよなかアートプロジェクト メディアアート企画
展覧会「光さす間に」

広報画像

- ・画像の使用をご希望の方は、広報担当までご連絡をお願いいたします。
TEL:06-6864-3901 FAX:06-6863-0191 Mail:takemoto@toyonaka-hall.jp (広報担当:竹本)

使用にあたってのお願い

- ・キャプションは、作家名、作品名、制作年、フォトリジットを必ずご表記ください。
- ・画像の加工（トリミング、圧縮、文字載せ、色調変更）はお控えください。
- ・本展のご紹介にのみご使用ください。
- ・本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正原稿をお送り願います。



3. MATHRAX 《ステラノーヴァ》2015年
photo: kenji kagawa



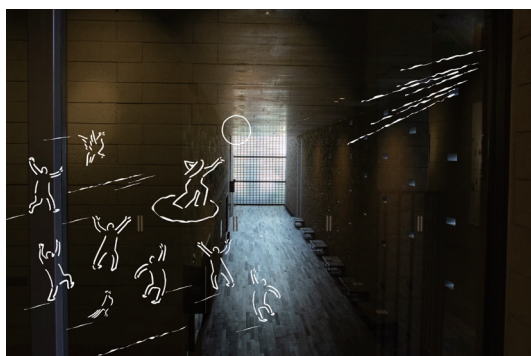
4. MATHRAX 《ステラノーヴァ》2015年
photo: kenji kagawa



5. MATHRAX 《いしのこえ》2016年



6. MATHRAX 《風と石》2020年



7. 作家による新作のためのスケッチ 2022年